Panasonic

取扱説明書
基本操作編

7 V 型ワイド VGA モニター 2DIN AV システム
CD内蔵 SSDカーナビステーション

Strada

品番 CN-B200D

ご使用前に、「安全上のご注意」（☞ P.4～P.7）を必ずお読みください。

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  - ・説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  - ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。
- **本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。**
  詳しい操作説明については、当社サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。☞ P.2

※SSDとはSolid State Device（ソリッドステートデバイス）の略で、地図データの記録媒体として（大容量）フラッシュメモリーを使用したものです。

当社サイトで「ユーザー登録」をしてください

PC http://panasonic.jp/navi/

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　VICS　MAPCODE®　SD HC™

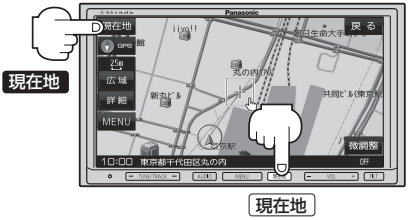
Made for iPod iPhone

保証書別添付

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご覧ください。

P.3 参照していただきたいページ番号を表します。	
現在地 など パネル部のボタンを 白地に黒文字 で表します。	（例） 1 現在地 を押す、または 現在地 をタッチする。
現在地 など タッチパネル部のボタンを 黒地に白文字 で表します。	
タッチパネル操作や パネル部の操作を表します。	（例） 2 郵便番号を入力し、 検索 をタッチする。
2-1 操作の順番を表します。	



※本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
※画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
※当社サイトのURLは、予告なく変更することがあります。

本機の詳しい操作説明について

本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。
詳しい操作説明については、右記サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。

※スマートフォンの場合は、QRコードをカメラで読み込んで
サイトにアクセスすることができます。車内でご覧になる場合は、
車を安全な場所に停車させてご覧ください。

※本書では『詳細操作編』と省略して記載しています。

http://panasonic.jp/navi/

もくじ

本書の読みかた……2
もくじ……3
安全上のご注意……4

はじめに P.8

使用上のお願い……8
各部のなまえとはたらき……10
本機を起動する……10
電源を入れる……10
モニターの角度を調整する……11
走行中の操作制限について……11
走行中に制限される機能……11
SDメモリーカードについて……12
SDメモリーカードの取り扱い……12
CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す……13

ナビゲーションの操作 P.14

地図画面の見かた……14
画面のボタンについて……14
画面の表示内容について……15
地図の操作……16
地図を拡大／縮小する……16
地図表示(方位)を切り換える……16
地図スクロール(地図を動かす)……17
ナビメニュー画面／設定メニューについて……18
メニュー画面を表示する……18
現在地ボタン／戻るボタンについて……18
各メニュー画面を表示する……19
クイックメニューについて……20
設定メニューを表示する……21
自宅を登録する……22
地図から自宅／地点を登録する……23
目的地を設定する……24
登録地点から探す……24
ルートを変更する……25
経由地の追加……25
出発地／経由地／目的地の変更と削除……26
VICS情報(FM多重)について……27
表示について……28
ランドマーク表示の設定をする……30
音声案内の音量を調整する……30
表示や音声の言語を変える……31
本機を初期状態に戻す……31

オーディオを楽しむ P.32

AUDIOモードの基本操作……32
操作したいAUDIOモードに切り換える……32
AUDIOモードを終了する……32
選曲する……33
早戻しする／早送りする……33
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……34
音量調整する……35
AUDIOモードで再生したままナビモードに切り換える……35
地図画面からのAUDIO操作について……36
音の匠/DSPの設定をする……37
バランス/フェーダーの調整をする……37
音域の設定をする……37
CDについて……38
CD画面について……38
ラジオ(FM/AM)／交通情報について……39
ラジオ画面について……39
SDメモリーカード／USBメモリーについて……40
USBメモリーを接続する……40
USBメモリーを取り外す……40
SD／USB画面について……41
iPodについて……42
iPodを接続する……42
iPod画面について……43
AUXについて……44
AUXを接続する……44
AUX画面について……44

困ったとき P.45

故障かな!?……45
こんなメッセージが出たときは……51

必要なとき P.54

地図更新について……54
バージョンアップキットで地図を更新する……54
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)……54
本機が正常に動作しないとき……55
お手入れ……56
ディスクの取り扱い……56
本機で再生できるディスクについて……57
地図ソフトについて……58
VICSについて……62
商標などについて……64
GNU LGPLライセンスについて……66
仕様……72
保証とアフターサービス……74

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

本機はDC12 V⊖アース車専用です
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品※を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの※を使用する
火災や発煙、発火、故障の原因となります。
※最大入力が45 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。
交通事故の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。
事故や火災、感電の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、モニターの開閉や角度調整の際にご注意ください。
けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

開いたモニターの上に物を置かない
液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

●エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

●他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

●携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

●液晶ディスプレイについて

- 先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 内部照明装置(バックライト)が暗くなる場合がありますが、本体の温度が下がると元に戻ります。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光があたらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

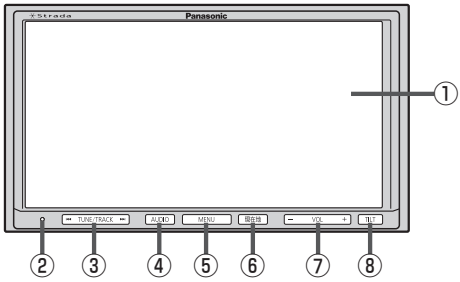
- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシーに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地点の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- **次の場合、補償はできません。**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合**

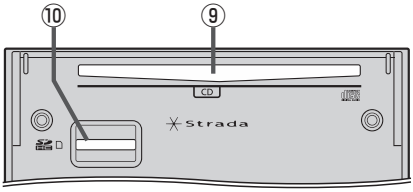
著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- **本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。**

- **大切な情報(登録地点など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。**
- **説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。**

各部のなまえとはたらき





①液晶ディスプレイ(タッチパネル)

②リセットボタン
折れにくい棒状の物などで押すと本機が再起動されます。

③ ⏮ TUNE/TRACK ⏭ ボタン
- 短押しで以下の操作になります。
  曲／ファイル：選曲
  ラジオ(FM/AM)：選局
- 長押しで以下の操作になります。
  曲／ファイル：早戻し(⏮)、早送り(⏭)
  ラジオ(FM/AM)：自動選局

④ AUDIO ボタン
AUDIOモードに切り換えます。

⑤ MENU ボタン
メニュー画面を表示します。☞ P.18

⑥ 現在地 ボタン
現在地の地図画面を表示します。

⑦ − VOL ＋ ボタン
オーディオの音量を調整します。
※AUDIO OFF時は操作できません。

⑧ TILT ボタン
CD／SDメモリーカードの出し入れやモニターの角度調整をするときに押します。

⑨CD挿入口

⑩SDメモリーカード挿入口

本機を起動する

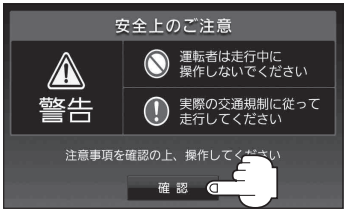
電源を入れる

1 車のエンジンをかける。(ACCをONにする。)

：本機の電源が入ります。

※起動画面が表示されたあと、警告画面が表示されますので、警告画面の内容を確認して 確認 をタッチしてください。約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

警告画面



モニターの角度を調整する

1 TILT を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2 DOWN または UP をタッチする。

※モニターの角度を６段階に調整できます。

ボタン	内　容
DOWN	傾きが大きくなります。
UP	傾きが小さくなります。

お知らせ　エンジンを切る（ACCをOFFにする）と、モニターは自動で閉じ収納されますが、次回、エンジンをかける（ACCをONにする）と、前回調整した角度でモニターが開きます。

走行中の操作制限について

安全上の配慮から走行中に一部の操作を行うことができません。

走行中に制限される機能

ナビモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	地図スクロール	短押しスクロールのみ可能
	細街路表示（3 m以下）	細街路を走行中のみ表示
AUDIOモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能

SDメモリーカードについて

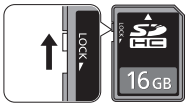
本機では、SDメモリーカードを使用して下記のことができます。
- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用
- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぷるコード(MGコード)更新データの利用
- パソコンを使ってSDメモリーカードに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)の再生

■本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32 GB以下)*とSDメモリーカード(2 GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。
microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。
＊印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

■SDメモリーカードは、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。
専用フォーマッターについて、詳しくは下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/download/
(URLは予告なく変更になる場合があります。)

お知らせ
- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い



- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- **SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。**
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- **次のことをお守りください。**
  - ・本機から取り出したら、必ずケースに収納する
  - ・裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
  - ・貼られているラベルをはがさない
  - ・シールやラベルを重ねて貼り付けない
  - ・強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない

お願い microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す

1 TILT を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

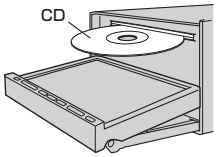
2 DISPLAY－OPEN をタッチする。

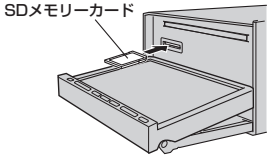
：モニターが開きます。

■ CD／SDメモリーカードを入れる場合

① CD／SDメモリーカードをそれぞれの挿入口に挿入する。

※SDメモリーカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。





※挿入すると、自動的にモニターが閉じます。

■ CDを取り出す場合

① DISC－EJECT をタッチする。

：CDが排出されます。

※排出されない場合、 TILT を長押し（約10秒）すると強制的に排出することができます。

② TILT を押す。

：モニターが閉じます。

■ SDメモリーカードを取り出す場合

① SDメモリーカードを１回押して取り出す。

② TILT を押す。

：モニターが閉じます。

お知らせ
- モニターが開いたまま、ACCをOFFにした場合は、自動的にモニターが閉じます。
- CDを挿入すると自動でCDの再生がはじまります。